

訪問リハビリ班



訪問リハからのお知らせ

五月より訪問リハビリ職員であった渡邊健次が他施設へ異動となりました。それに伴い、新しく島田絵梨奈が訪問リハビリ職員として働く事になりました。今後も島田含め、より良いサービスが提供できるよう頑張っていきます。宜しくお願い致します。

渡邊健次より皆さんへ

目に鮮やかな新緑の候、皆様におかれましては、清々しく五月をお迎えのことと存じます。

このたび私、作業療法士の渡邊健次は五月一日付でロベリアへ異動することになりました。いつも温かく接して下さる皆様とご一緒に訪問リハビリができたこと、とても感謝しております。至らない点も多かったと思いますが、優しく対応してくださり本当にありがとうございました。

新しい部署に行っても、これまで皆様と過ごした経験を生かして業務に精励したく存じます。後任は作業療法士の島田絵梨奈が務めさせて

いただきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈りしております。

島田絵梨奈より皆さんへ

五月一日からサルビア勤務となりました作業療法士の島田絵梨奈です。私は高知県生まれで、現在は日野市住まいです。作業療法士の夫と、五歳と一歳の男の子二人に囲まれた、賑やかな四人家族です。

趣味は息子の食育のために始めた家庭菜園にはまり、毎年春と秋限定で色々な野菜を育てています。今はジャガイモを育てています。

私が訪問リハビリで大切にしていることは、利用者様の気持ちと、生活の質の向上です。利用者様の今の気持ちを聞きながら、どのような生活を送りたいか一緒にリハビリのプログラムを考え、目標に向けてアプローチしていければと思います。利用者様の気持ちに寄り添ったりハビリを提供出来るように頑張りますので、よろしく申し上げます。

リハビリ日誌

今回は現在サルビアにて訪問リハビリ、通所リハビリ、そしてリハビリ合宿を利用されている方の旦那様から素敵なお手紙を貰いましたので、載せさせていただきます。リハビリ合宿とは一定期間リハビリ目的で入所するサービスです。

旦那様の声

私の妻は、令和元年七月と、その翌年九月の計二回、脳梗塞を発症し、「高次脳機能障害」と診断されました。

一回目は日常生活に大きな支障はありませんでしたが、二回目以降は左手足に後遺症が残り、私の介助が必要な状況です。

自宅は三階でエレベーターがなく、外出には階段昇降の昇り降りが必要ですが、健常者の五倍程度の時間がかかります。その際、転び骨折しないよう私の手助けが欠かせない現況です。

その階段昇降の改善などを目的に、訪問リハビリを約二年継続しています。お陰で現状は維持できているのですが、歩行難に変化がなく、一定期間の入所による「リハビリ合宿」を勧めて頂き、約二ヶ月間サルビアでお世話になりました。

今月四月から直接面会が可能となり、久しぶりに対面した時、元気な立ち姿に驚きました。

また合宿を終え帰宅した時は、軽い足取りで階段を上がる姿が見られ、お世話になって良かったと実感しているところです。

家内は「我が家に帰れて嬉しい！」と満面の笑みでした。



編集部員のつぶやき

五月にはGW（ゴールデンウィーク）がある。今年も五月一日と二日に休みを取ると最長九連休という大型連休であった。

新型コロナウイルス減少に伴い、主に国内旅行や海外旅行に行く人も多かったようである。ただなかなか大型連休にできない人もおり、私自身もGWをどのように過ごすかと考えてしまった。

ところでGWにはどのような祝日があるか皆さん把握はされているだろうか。まずは「昭和の日」。昭和天皇の誕生日である。また激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす意味がある。

次は「憲法記念日」。日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する意味がある。

「みどりの日」。自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心を育む日。

「子供の日」。子どもの権利を尊重し、成長を祝うことなどを目的にした記念日。

改めてそれぞれの祝日には意味がある。なかなか大型連休を取り遠出できない人は、祝日の意味に沿った過ごし方をしてみてはどうだろうか。例えば昭和の日では昔の時代を顧みる時間を作る。以前の新聞で載せた日野宿を訪問する。みどりの日には、昭和記念公園で自然と触れ合い季節を感じるといった感じである。

我ながら良い提案ではないかと思いつつ、実際の私のGWの過ごし方と言うと、妻子は妻の実家に帰省。私はいつも通り祝日も訪問リハビリを行うという過ごし方であった。勤労感謝の日は休みたいと思う。